**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　６０　回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | シルバー小規模多機能ホーム |
| 施設種類 | 小規模多機能型介護事業所 |
| 開催日時 | 開催は中止　郵送にて報告書のみ |
| 会場 | 上中町岡２２２－１　シルバー小規模多機能ホーム |
| 参加者 | 利用者代表 | 人 |
| 利用者家族代表 | 人 |
| 地域住民代表 | ３人 |
| 有識者 | 人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 事業者 | ２人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | １．現状報告７月の利用者状況…新規登録１名。退院後の再登録１名。入院２名。退所者３名。介護度の変更はありません。・新規登録１名　　心臓肥大により入院中であった方が、症状は改善したのだが、退院後の自宅での生活や健康管理が困難な為、常時泊りでの受け入れとなった。自宅での生活に戻るために体調や日常生活動作等、経過観察中。・退院後の再登録１名。５月より脳梗塞で入院中であった方が、リハビリ療養を経て退院の許可が出た為、再登録となった。身体状況も以前と変わりない状況まで回復し、元の生活に戻られています。・入院２名1. 透析通院中の方が、排便時出血が見られるようになる。病院とも経過観察していたが症状が改善しない為、内視鏡にて検査を行い腸内に傷が見つかる。一時入院となるが、症状が改善し５日ほどで退院となった。その後は今までの生活に戻られています。
2. 独居で訪問のみのサービスを受けられていた方が、今年に入り自宅内での移動が困難となってきた。徐々に寝たきり状態となり、褥瘡の悪化で入院することとなった。

・退所者３名1. 上記褥瘡で入院中の方の退院後の受け入れを検討していたが、自宅へ戻っての生活は不可能であると判断し長期入院となった為、退所となる。
2. ６月より退院し週に一回の帰宅と泊りを利用中であった方が、情緒不安定となる事が度々見受けられるようになる。その後、家族と別の病院を受診されそのまま長期での入院となった為、退所となった。
3. 自宅周辺の工事により帰宅できずに、泊りを長期利用中であった方が、帰宅に向けて調整中であったが、工事期間の延期の為、しばらく帰宅できない状況であったが、引き続き長期泊りの利用できる他の施設へ移ることとなった。

　８月の利用者状況…新規登録２名、介護度の変更はありません。・新規登録２名　　有料老人ホームに入所中であった方が、デイサービスでの入浴と通院などの送迎支援を受けるために、夫婦で登録となった。〇コロナウイルス感染拡大を受けての一時的な利用サービス変更について８月に入り、カラオケ喫茶によるクラスター感染が阿南市内に多数報告されるようになりました。事業所としても感染防止対策を行っていましたが、どこで発生してもおかしくない緊迫した状況が続き、一時的ではありますが外部との接触の多い利用者については、デイサービスを休んでもらう等の対応を取らせていただきました。デイサービスを受けられない利用者については代わりに訪問サービスでの対応を行っております。９月に入り通常どおりの運営に戻っています。課題の実施状況　７月　　　・事故防止・発生防止・緊急時の対応について（社内研修）・熱中症予防のために（行政からの周知通達）　〇暑さを避ける　〇こまめな水分補給をする　　　　　　・社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染予防対策の徹底について（行政からの周知通達）　　　　　　　〇利用者、入所者について　　　　　　　　毎日の検温実施（１日３回）体調の確認　　　　　　　　事業所間の情報共有　　　　　　　〇職員について　　　　　　　　出勤前の体温測定、有症状時の出勤停止　８月　　　・介護現場の接遇とマナーについて（社内研修）・感染防止対策の更なる徹底について（行政からの周知通達）　〇感染予防対応チェックリストの活用・外部評価に向けて（個別評価の作成）２．今後の課題　９月　　　・身体の観察について（社内研修）　　　　　　・最新のコロナウイルス感染対策の情報共有　　　　　　・外部評価（事業所自己評価作成）　１０月　　・排尿・排便について（社内研修）　　　　　　・最新のコロナウイルス感染対策の情報共有３．主な行事　　　　７・８月　　県内コロナウイルス感染拡大の為、外出、イベント参加等自粛今後の予定９月　　　　誕生会、敬老会１０月　　　紫陽花の花見※外出や行事については十分な感染防止対策を取っています。 |
|  |
| 議題 | コロナウイルス感染拡大の影響により、報告書のみ郵送にて対応 |
|  |
|  |